

戸倉三山(奥多摩)編集する

2010年01月12日 02:03 友人の友人まで公開

4 view



1月3日 戸倉三山

《写真1》 篠八窪尾根

《写真2》 伐採後の木々

《写真3》 都心を一望

今年初めての山行は、mixi で知り合った紅茶んと、奥多摩の戸倉三山へ。ネットで知り合った人と山へ行くのは初めてだが、普段から mixi 上での交流もあり、初対面でもそれほど不安を感じずに合流できた 🍵

紅茶んは、一般の登山道ではないバリエーションルートを好む登山家で(→地図を読みながらの道迷いや、藪こぎが好きらしい)、また三角点ハンター(全国に10万以上ある三角点を写真に収める)でもある 📷

今日のルートは、すべての計画を紅茶んに一任していたので、前半はバリエーションルートを取り入れていた。なので、おれは紅茶んの後ろをただ着いていくのみ 🧑🏻

今回歩いた尾根沿いのバリエーションルートは、登山道にはなっていないものの、地元民が山菜採り等で歩いているか、電力会社の巡視道になっているかで、比較的歩きやすいところだった。



(冬の奥多摩。明るい。)

地形図上は尾根道を歩いていたので、このまま山頂へまっしぐらかと思いきや、歩き始めてから 2 時間、山頂はもうすぐそこというところで、紅茶んが何やら渋い顔を...💧



これは、尾根が途切れて(=崖っぷち)、突如現れた採石場。

なんと、この採石場は尾根ごと切り開いたようで、山頂へ通ずる道がなくなってしまったのだ。(→ちなみにこれ、地形図(平成 6 年版)には記載なし。)

紅茶んは、この尾根の取り付き場所付近で、「この先、山頂へは行けません」という掲示があったことを思い出していたが、それがまさかこういうことを指すとは...💧

こんなこともあるんだね～😅

結局、採石場まで、ほぼ崖のような急斜面を無理やり下ることに決定。



(無理やり下る様子 🙄)



(ここを下りました。。。💧)

なかなか普段ではできないことで、経験値アップ👉!?

一時はどうなることかと思ったけど(これがバリエーションルートの醍醐味!?)、採石場からは一般の登山道に出て、再び刈寄山を目指して歩き直す。登山道に出てしまえば、あとはほぼ問題なし。戸倉三山(刈寄山、市道山、臼杵山)を無事に登頂できました🙌

戸倉三山は、標高はそれほど高くなくてもアップダウンがあり、歩きごたえのあるルート。今回は荷物が軽

かったから、軽快に歩けたけど、ここを 25kg ザックで歩いたら、いいトレーニングかも!? (と思うだけでやめときます 😅)

7:30 篠八窪尾根の取り付き口

8:30 みなと区民の森!?

9:00 石立の頭

9:20 崖っぷち!?

9:55 採石場現場

(ここまでは、篠八窪尾根を歩く。以下は一般の登山道)

10:15 刈寄山登山口

10:50-11:25 刈寄山

11:35 分岐

13:25-13:40 市道山 (→三角点がない!!)

14:45-15:00 臼杵山

15:55 稲田子峠

16:10 林道

16:35 スタート地点

【歩行時間 約 8 時間??】

さて。

奥多摩は、都心からアクセスのしやすい山だが、その地元で直面している問題を、今回は様々と見せつけられた 😞

刈寄山へ行く途中、突如場所が開けたと思ったら、そこは開拓されたばかりの「みなと区民の森」だった。



(左半分の急斜面は、森林を完全に伐採してしまった状態。)

ここ、後日ネットで調べてみると、港区があきる野市から 20ha の私有林を借り受け、長く手つかずだった森を整備し、森を元気にすることで、二酸化炭素の削減を図り、子供たちや区民の皆さんの自然観察、環境学習の拠点を作る、という趣旨の場所。

しかし、こんな急斜面を切り開いたエリアに、一般客を歩かせるのはとても厳しそう。実際、どれだけの人がここに立ち寄っているのだろうか。。。🤔

しかも、この後出会った地元民(=例の採石場の作業員だった)が、こんなことをぼやいていた。

「あきる野市では、『恵みの森』の名の下に森の保護をしている。しかし、一部の市町村や宗教団体が、地元の下承を得ずに、土木業者に頼みこんで、勝手に森を切り開いてしまっている。さらにその業者の作業が下手だと、それを補修するのにまたたいへんな作業となる...。」

それを裏付けるかのように、こんな場所にも遭遇した。



(本来は杉林の中を歩く登山道だが、右斜面は完全に伐採。)

ここ、この後どうなるんだろう!? 😞

伐採は、主に以下の2つがあるが、

① 間伐 (かんばつ)

森林状態を維持しながら、一部を計画的に伐採 & 植林すること

② 皆伐 (かいばつ)

一定の森林をすべてまとめて伐採する。材木の収穫費用は間伐より安く済むが、森林の回復には相当の時間がかかる。

これまで、「間伐」は他の山でも見てきたし、全体的なバランスをとりながら森を大事にしているな、と思っていたけど、今回は明らかに不自然な「皆伐」を見てしまい、興ざめ 🤔

結局は、様々な人間のエゴを山にぶつけるしかないのだが、何がいいのか、問題は重大である。

自然と人との共存  うまくやっていきたいなあ。。。